



作成日 2015/07/15  
改訂日 2020/10/26

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ハイドロキノン
製品コード	FI-B11-0006
供給者の会社名称	宇部興産株式会社
住所	105-8449 東京都港区芝浦1丁目2番1号 シーバンスN館
担当部門	ナイロン・ファイン事業部 ファイン・工業薬品営業部
電話番号	03-5419-6175
FAX番号	03-5419-6255

### 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	自然発火性固体 区分に該当しない
物理化学的危険性	急性毒性(経口) 区分4
健康有害性	急性毒性(経皮) 区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性 区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1
	皮膚感作性 区分1
	生殖細胞変異原性 区分2
	発がん性 区分に該当しない
	生殖毒性 区分に該当しない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(肝臓)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分1
	水生環境有害性 長期(慢性) 区分に該当しない
	上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない(分類対象外) 分類できない。

#### GHSラベル要素 絵表示



注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
H302 飲み込むと有害  
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
H318 重篤な眼の損傷  
H336 眠気又はめまいのおそれ  
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い  
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓の障害のおそれ  
H400 水生生物に非常に強い毒性

注意書き  
予防策

粉じん/煙の吸入を避けること。(P261)  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

対応

皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。(P302+P352)  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

保管  
廃棄

施錠して保管すること。(P405)  
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業

務委託すること。(P501)

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質  
 化学名又は一般名 ハイドロキノン、ヒドロキノン、p-ジヒドロキシベンゼン

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
ヒドロキノン	99%以上	C <sub>6</sub> H <sub>6</sub> O <sub>2</sub>	(3)-543	公表	123-31-9

### 4. 応急措置

吸入した場合 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 多量の水と石鹼で洗うこと。  
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合 速やかに瞼を開き、隅々まで清水で少なくとも15分以上洗い流し、眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。  
 直ちに医師に連絡すること。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 水噴霧、粉末、二酸化炭素、耐アルコール泡消火剤

使ってはならない消火剤 情報なし

特有の消火方法 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。  
 周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 風上から消火する。  
 空気呼吸器、保護眼鏡、保護手袋等を着用して消火作業をする。  
 二次災害を起こさないように消火作業をする。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 危険な現場を分離して無関係者及び保護具未着用者の出入りを禁止する。  
 作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項 流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさない様に注意する。  
 密閉容器に回収する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 防水シート等で覆いをして飛散拡大防止を図り、容器に回収する。  
 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 眼、皮膚に触れないように保護眼鏡、保護手袋を着用する。  
 粉塵を吸入しないように、防塵マスク等適切な保護具を着用する。  
 『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱注意事項 電気機器類は、必要に応じて防爆構造のものを用いる。  
 機器、設備には、必要に応じて静電気対策を行う。  
 火気厳禁。  
 漏れ、溢れ、飛散などしないように注意し、使用後は容器を密閉する。  
 取扱いは、換気のよい場所で行い、粉塵が飛散しないよう注意する。  
 取扱後は、石鹼を用いて手洗い、洗顔を行う。

保管

安全な保管条件 直射日光、外気、湿気を避けた密閉容器に入れ、換気良好な屋内冷暗所に保管する。

安全な容器包装材料 クラフト紙袋、ポリ袋、フレキシブルコンテナ

### 8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
ヒドロキノン	未設定	未設定	TWA 1 mg/m3

**設備対策**  
 取扱いは出来るだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。  
 取扱場所の近くに洗顔、洗身場の設備を設け設置場所を明示する。

**保護具**

呼吸用保護具 防塵マスクを着用する。  
 手の保護具 保護手袋  
 眼、顔面の保護具 顔面用の保護具を着用すること。  
 保護眼鏡  
 皮膚及び身体の保護具 保護服等

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態 固体  
 形状 固体(結晶)  
 色 白色  
 臭い ほとんど無臭  
 融点/凝固点 172 °C  
 沸点又は初留点及び沸点範囲 287 °C (730mmHg)  
 可燃性 データなし  
 爆発下限界及び爆発上限界/  
 可燃限界  
   下限 1.6  
   上限 15.3  
 引火点 165°C (セタ密閉式)  
 自然発火点 515 °C  
 分解温度 データなし  
 pH データなし  
 動粘性率 データなし  
 溶解度 水溶解度: 5.9g/100mL (15°C)  
   エタノール, エーテルに可溶, ベンゼンに難溶  
 n-オクタノール/水分配係数 Log Pow =0.59  
 蒸気圧 0.12Pa (20°C)  
 密度及び/又は相対密度 1.3  
 相対ガス密度 3.8 (空気=1)  
 粒子特性 データなし

**10. 安定性及び反応性**

反応性 情報なし  
 化学的安定性 常温、常圧下では安定である。  
 危険有害反応可能性 空気酸化により徐々に着色する。吸湿性があり、高温で昇華する。強酸化剤、強塩基と激しく反応する。  
 避けるべき条件 高温、多湿。  
 混触危険物質 強酸化剤、強塩基  
 危険有害な分解生成物 一酸化炭素、二酸化炭素

**11. 有害性情報**

急性毒性  
   経口 ラットLD50=593 mg/kg (計算値)  
   経皮 ウサギLD50=74,800 mg/kg  
 皮膚腐食性/刺激性 軽度の刺激性 (モルモット)  
 眼に対する重篤な損傷性/眼 腐食性を示す (ウサギ)  
 刺激性  
 呼吸器感受性 マウス-LLNA法: 皮膚感受性あり (OECD 429)

皮膚感作性	モルモット-マキシマイゼーション法：皮膚感作性あり (OECD 406) マウス-LLNA法：皮膚感作性あり (OECD 429)
生殖細胞変異原性	モルモット-マキシマイゼーション法：皮膚感作性あり (OECD 406) In vivo体細胞変異原性試験：弱い影響 (腹腔内、経口) 経世代変異原性試験：陰性 (経口)
発がん性	ACGIH：A3
生殖毒性	発生毒性試験、ラットを用いた二世世代繁殖試験で生殖毒性は認められていない (ラット、ウサギ)。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	高暴露試験で、中枢神経系、過剰興奮性、振戦、ひきつけ、昏睡がみられるが、致死量以下では回復するとの記載がある。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	マウスの試験で肝毒性が認められている。
誤えん有害性	データなし

## 1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期 (急性)	魚類 (Oncorhynchus mykiss) 96h-LC50 : 0.638 mg/L (OECD 203) 甲殻類 (Daphnia magna) 48h-EC50 : 0.134 mg/L (OECD 202) 藻類 (Pseudokirchnerella subcapitata) 72h-ErC50 : 0.330 mg/L (OECD 201)
水生環境有害性 長期 (慢性)	易分解性 (14日間-BODによる分解度：70%) (OECD 301C) 生体蓄積性は低いと推測される (log Pow : 0.59)
生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	燃えやすい溶剤に溶かすか、混合物にして、アフターバーナーとスクラバーが設置されている焼却炉で焼却する。 活性汚泥処理法か、処理能力のある公認された産業廃棄物処理業者に依頼する。
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 1 4. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	I M Oの規定に従う。
UN No.	3077
Proper Shipping Name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S. (HYDROQUINONE)
Class	9
Packing Group	III
Marine Pollutant	Applicable
Liquid Substance	Not applicable
Transported in Bulk	
According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	
航空規制情報	I C A O / I A T Aの規定に従う。
UN No.	3077
Proper Shipping Name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S. (HYDROQUINONE)
Class	9
Packing Group	III
国内規制	
陸上規制	該当しない
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。

国連番号	3077
品名	環境有害物質 (固体) (ハイドロキノン)
国連分類	9
容器等級	III
海洋汚染物質	該当
MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	3077
品名	環境有害物質 (固体) (ハイドロキノン)
国連分類	9
等級	III
緊急時応急措置指針番号	171

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	変異原性が認められた既存化学物質 (法第57条の5、労働基準局長通達) 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) ・ヒドロキノン (法令指定番号: 461)
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	第1種指定化学物質 (法第2条第2項、施行令第1条別表第1) ・ヒドロキノン (法令指定番号: 336)
化審法	優先評価化学物質 (法第2条第5項)
大気汚染防止法	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質 (中央環境審議会第9次答申)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項
船舶安全法	有害性物質 (危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法	その他の有害物質 (施行規則第194条危険物告示別表第1)
特定有害廃棄物輸出入規制法 (バーゼル法)	特定有害廃棄物 (法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)
労働基準法	疾病化学物質 (法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)

## 16. その他の情報

連絡先	品質保証部 化学品品質保証グループ 電話番号: 0836-31-3458 FAX番号: 0836-31-3165
参考文献	情報なし
記載内容の取扱い	記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。